

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談
2. 日時：令和5年2月2日（木） 16：00～18：30
3. 場所：原子力規制庁8階会議室
4. 出席者：

原子力規制庁

長官官房技術基盤グループ

技術基盤課

佐々木企画調整官、篠田係長

原子力規制部

検査グループ検査監督総括課 村上総括補佐

検査グループ実用炉監視部門 菊川管理官補佐

原子力規制企画課

藤森企画調査官、斎藤課長補佐、望月専門職

原子力エネルギー協議会 事務局長 他 6 名

関西電力株式会社 原子力事業本部 保全計画グループ マネージャー

九州電力株式会社 原子力発電本部 原子力設備グループ 課長 他1名

5. 要旨：

- 事業者等から、資料1に基づき検討中の件名と、今後の面談での意見交換の予定について説明を受けた。
- 原子力規制庁から、蓄電池容量試験について、第56回技術情報検討会後に追加の質問表を受領し過去に各事業者で実施した容量試験結果報告を予定している。その際の注意点として劣化の考え方についての各事業者の説明と漏洩時の判断方法等が読み取れる報告書を作成する旨要望した。
- 事業者等から、再度検討を重ね十分に読み取れる内容のものにする旨回答があった。
- ATENA から、デジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障への対応に基づく安全対策に関し、要件整合報告書の内容、手順書等に関する説明、これら文書作成の品質管理体制等の取組について、公開での説明の準備を進めている旨、説明があった。
- 原子力規制庁から、ATENA 及び各事業者の全体的な取組を整理し、説明するよう申し伝えた。
- ATENA から、対応する旨、発言があった。

6. 配布資料：

資料1 ATENA 検討件名一覧 rev.1

資料2 デジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障対策の自律的対応について

以上